

折り梅

「ユキエ」の
松井久子監督作品

「真実」に—
うれしい涙が止まらない

ありのままを受けいれよう……
それが家族の絆になった
そして私の世界も広がつていった

原田美枝子
吉行 和子
トミーズ雅
田野あさ美
三宅 零治
金井 克子
乾 貴美子
岡本 麗子
中島 ひろ子
加藤登紀子

製作・監督: 松井久子
原作: 小曾木と子
「忘れても、しあわせ」日本評論社刊

脚本: 松井久子 / 白鳥かづ子

エグゼクティブ・プロデューサー: 鶴嶋剛男

プロデューサー: 新藤次郎 / 里中哲夫

アシスタント・プロデューサー: 吉井久美子

音楽: 川崎真弘

撮影: 川上皓市

照明: 水野研一 美術: 香藤昇男

脚本: 井原邦雄 編集: 鹿児行夫

製作: (株)エッセン・コミュニケーションズ 製作: (株)近畿映画協会

協力: 奈良市映画製作実行委員会 製作: 三島株式会社 / 第一興業株式会社

助成: 芸術文化振興基金 配給: ペンタゴン・シネマ・ワーク

© ESSEN COMMUNICATIONS INC. 2001・2002

カラー / 35mm / 111分 / ワイドサイズ



ori ume



映画と講演

「映画をとおして人権を考える」

第2回人権問題講演会(入場無料)

*申込み不要)

9月5日(土)13:30~16:30 コムズ 5階 大会議室

映画:「折り梅」2002年公開作品

それは、ある日突然、平和な家庭にふりかかった…。名古屋郊外のベットタウン、愛知県豊明市。サラリーマンの夫・祐三とパート勤めの妻・巴、中学生と小学生の子ども二人の4人家族に夫の母・マサコが同居することになった。そしてまもなく、マサコが変調をきたしはじめ、病院でアルツハイマー型痴呆症(認知症)と診断され、家族はバラバラになる。ところが、崩壊しかけた家族が思いがけない展開と様々な葛藤を経て、見事に再生してゆく物語に、人間の無限の可能性が描かれる。原作は、愛知県在住の主婦:小菅もと子著「忘れても、しあわせ」。



講演: 映画監督 松井久子さん

「命の輝きと家族の絆」

早稲田大学文学部演劇学科を卒業。雑誌のフリーライターを経て、1985年TV番組制作会社「エッセンス・コミュニケーションズ」を設立。TV番組の制作を経て、1993年から映画のプロデュースにも進出。その後映画監督に転身し、1998年にアルツハイマー症の女性を描いた「ユキエ」で監督デビュー。第二作「折り梅」もアルツハイマー症の義母を介護する嫁の実話をもとに制作。福祉や高齢者、介護、家族といった現代的な問題に关心を持つ監督という評価を受けている。



Do

主催: NPO法人「Do」

(松山市委託事業)

後援:松山市教育委員会・松山市公民館連絡協議会・松山市人権教育推進協議会

愛媛新聞・NHK松山放送局・南海放送・テレビ愛媛・FM 愛媛・あいテレビ

愛媛朝日テレビ・愛媛 CATV・リビングまつやま